

## アジア編:

### ビジネス・サービスで成長:2008 年マレーシア IT 市場

成長が著しいアジア IT 市場であるが、市場リーダーのインド、中国以外の国々でも IT 関連の取組みが進んでいる。特にマレーシアでは 2008 年、ビジネス・インテリジェンスに関する支出が伸びると見られている。

1 月 30 日付 IDC 発表によると、マレーシアにおける IT 支出は、2008 年に 6-8% 増となり、2007 年の 10.6% と比べると鈍化する見込み。その要因として、分野別で見ると、ハードウェアが 4-6% 増となることが挙げられる。また、通信サービス関連の支出は 3.6% 増となる見込みで、通信関連分野別では、データ・サービスの需要の伸びに後押しされる固定回線関連サービスが 4.7% 増、同じくデータ・サービスに後押しされるワイヤレス回線関連サービスが 3.0% 増となり、大きな成長が期待されていない。また、2008 年のマレーシアにおける携帯電話サービスは、現在の電話番号を維持したままキャリア(サービス業者)の変更が可能になるため、キャリア各社は新規ユーザの確保ともに既存ユーザの確保にも奔走中。その一方で、IT サービス分野は、9-11% 増、パッケージ・ソフトウェアは 8-10% 増となり、マレーシア IT 市場の成長を牽引する見込み。特に、売上げ分析、意思決定支援のためのデータ管理などに活用されるビジネス・インテリジェンス(BI)関連が成長株といえるようだ。IDC は、BI 市場は、2006-2011 年の年平均成長率は 14.6% 増で、2008 年は、市場規模 1,400 万ドルまで成長すると予測している。また、企業の社会的責任(CSR)を意識した企業統治システムも強化される見込みとのこと。こうした需要を受けたマレーシアのシステム関連市場では、地元ベンダの成長が著しく、これまで同市場を独占してきた海外からのベンダが安穩としていられない状況を生み出している。例えば、サービス・ベンダ SAS のマレーシア支社は、これまでの市場リーダーとしての地位を守るべく、ユーザ企業を集めたコンファレンスを 2 月に開催し、さらなるシェア拡大を図っていると、1 月 19 日付 Borneo Post 紙(マレーシアの新聞)が伝えている(シェア数値不明)。マレーシア企業にとって 2008 年が飛躍の年になるのか、注目が集まる。